



二輪草だより

二輪草センター主催

冬休みキッズスクール

～ 二輪草センターでは学童保育サポートの一環として
「冬休みキッズスクール」を開催いたします! ～

【対象児童】 旭川医科大学職員の児童(小学1～6年生)

【日時・定員】 2024年1月4日(木)・5日(金) 各日15名

※どちらか1日のみ・申込多数の場合は抽選となります

【時間】 午前8時15分～午後5時15分

(プログラムの活動時間は午前9時～午後4時)

【参加費】 2,000円

(損害保険代金800円・昼食・おやつ・飲み物・雑費等含む)

※夏休みキッズスクール参加者は保険料は不要です

【申込受付】 2023年11月27日(月)～29日(水)

下記アドレスまでメールまたはお電話でお申込みください

～プログラム～

🍷 特別授業・職場見学

『あかちゃんがうまれるまで』 講師:林 なつき先生



🍷 工作『キラキラ★ステンドグラス』

🍷 手作りおやつ『プリンアラモード作り』...などを予定しています

【お問合せ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249
開設時間8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp
ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>



医療概論Ⅲ「ワークライフバランスを考えよう」

二輪草センター 助教 菅野 恭子

2023年10月2日に医学科3年生を対象に「ワークライフバランスを考えよう」の講義および実習を行いました。今年度はコロナ明けの久しぶりの対面での開催となりました。教育センターの野津教授から開催のご挨拶を頂いた後、二輪草センターについての説明とワークライフバランスの講義を行いました。その後グループに分かれて2つの想定ケースに関して、キャリアプラン、問題点などを議論してもらいました。コロナ前は大講義室でグループ発表と意見交換を行っていましたが、manabaの方が多くの意見がでて活発なディスカッションになるため、今年もこの方式を取り入れました。この課題を通して様々な問題に対してどの様に対処していくか、そして自分とパートナーのキャリアをどう考えていくのか、育児・親の介護など家族の状況が人生設計に影響することも学んでもらいました。「先輩医師のワークライフ体験談」では、お2人の先生にお話し頂きました。脳神経外科学講座教授の木下学先生から、何をライフワークにするのか問いかけられ、限られた医師人生の中で仕事を極めることの醍醐味について熱く語って頂きました。産婦人科講座の横浜祐子先生からは子育てをしながらどの様に仕事と子育てを両立しているかお話し頂きました。



講演の最後には上司である産婦人科教授と娘さんからの手紙を披露する演出があり、両立することで職場や家庭で尊敬され、感謝されている事が伝わりました。ポストアンケートでは『必ずしも一生仕事にウェイトを置かなければいけない訳ではなく、反対に、子供を産んだら一生育児や家庭ウェイトを置かなければならない訳でないのだとわかりました』

『自分のこれからの人生で何を優先するのか考えていかなければならないと感じました』『ワークとライフは互いに充実してこそ自分の人生なのと思った』『医学を追求する道に魅力を感じました』という意見がありました。一方で『将来が不安になった』という意見も少数ありました。最後に二輪草センター長の山本先生から、アンコンシャスバイアスについて教えてもらいました。この講義をきっかけに自身のキャリアプランを考え、ワークライフバランスを充実させることができる学生が増えることを期待します。今回タスクフォースとして青木先生(病理部)石羽澤先生(小児科)、井上先生(教育センター)、大原先生(耳鼻科)、小野寺先生(緩和ケア科)、木ノ内先生(眼科)、佐藤先生(教育センター)、西川先生(眼科)、蒔田先生(遺伝子診療)、林先生(産婦人科)(五十音順、敬称略)にお忙しいところご協力いただきましたことを深謝致します。



病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談
【10月20日～11月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	29回	稼働回数	26回
病児・病後児保育室	依頼回数	22回	利用回数	15回
カウンセリング相談			利用回数	2回

* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます